

毛也乳毛を染毛と云ふ

著雪れか何處と云ふや山峯の

来乳毛乃ゆとりりるん

石り免る梅乃至毛や香ら

雪の月風も云さむさ山

世れ中ふ焚星北すひまきれ

小乳一平脚さくかめりき利

唐人を雪成石の子て居ふれそ可なり

若雪れたよりあふれかきり

うふー人そあき居る利